



〒101-8301 東京都千代田区神田駿河台 1-1 TEL:03-3296-4545

和泉キャンパス

〒168-8555 東京都杉並区永福 1-9-1 TEL:03-5300-1121

生田キャンパス

〒214-8571 神奈川県川崎市多摩区東三田 1-1-1 TEL:044-934-7171

中野キャンパス

〒164-8525 東京都中野区中野 4-21-1 TEL:03-5343-8000



明治大学創立 140 周年記念誌

発行日: 2022年3月31日

発行:明治大学創立140周年記念事業実行委員会 制作:株式会社 | T P コミュニケーションズ

印刷所:株式会社ITP

お問い合わせ先:明治大学経営企画部広報課 koho@mics.meiji.ac.jp

URL https://www.meiji.ac.jp

※掲載記事の無断転載を禁じます。



140th Semorial Book

明治大学創立140周年記念誌



140th Memorial Book

Contents

01	目	欠
----	---	---

02 創立140周年事業コンセプト・ロゴマーク

創立140周年メッセージ 理事長 柳谷 孝

学長 大六野 耕作

創立140周年記念式典

12 創立140周年記念事業

12 和泉ラーニングスクエア

14 子どものこころクリニック

16 さよなら和泉第二校舎

17 「復興の奇跡と未来への継承」・ 「都市型大学の将来構想とICTの展開」・ 「誰一人取り残さない大学をどう実現するか ―多様な視点から考える―」

- 18 校歌誕生100年記念プロジェクト・スポーツ記念事業
- 19 バルーンめいじろう制作・「立体錯視作品」特別展示
- 20 「ジョブ型と日本企業」・ 「日独の市民社会とプロサッカークラブの役割」・ Meiji Global Experience
- 21 明治大学発祥の地記念碑祭・ 校友山脈 一明治大学の教育と人材一・ 「鵜澤總明と明治大学」
- 22 140周年記念サイト
- 140周年記念新聞広告
- 明治大学のあゆみ
- 28 創立140周年記念記念事業一覧・委員名簿



明治大学創立140周年記念事業 コンセプト

前へ 一「個」を磨き、ともに持続可能な社会を創る一

21世紀に入り、グローバル化が急速に進展した一方で、多様な価値観のぶ つかり合いによる国家・民族間の相克や社会的・経済的格差の顕在化など、 様々な問題が生まれ、世界は混迷を深めつつあるように見えます。

日本では少子高齢化が進行することにより、新たな価値観に基づく社会シス テムの構築が模索されています。

こうした現代社会が抱える諸問題に真摯に向き合い、グローバル・パートナー シップを醸成して問題解決への取り組みを重ねることによって、ともに持続可 能な社会を築いていくことが、いま求められています。

そこで重要になるのは、一人ひとりが人類の英知に学びながらそれぞれ個性 を育み、多様な個性を尊重しつつ、社会のあらゆる場面で協同することを日 常化することです。

明治大学は、2031年に創立150周年を迎えます。これまで、建学の精神であ る「権利自由、独立自治」を体現した多彩な人材を輩出してきました。 これからも、多様な「個」を磨き、自ら切り拓く「前へ」の精神を堅持し、社会の あらゆる場面で協同を進め、時代を変革していく人材を育成します。

これら人材の育成に必要な教育の基盤は研究、すなわち知の創造にありま す。各専門分野を牽引する独創的研究を推進するとともに、学際的・国際的 連携によって知の厚みを蓄え、新たな課題に挑戦します。

建学の精神を体現した人材の育成と知の創造を通して共創的未来へと前進 します。

さあ、ともに前へ!

明治大学創立140周年記念事業 ロゴマーク



140周年記念事業のテーマカラー:ホライズンブルー 空色の一種で、地平線近くの淡い緑みの空色

140 周年記念ロゴの「O(ゼロ=地球【global】)」に大学シンボルマークを 重ねることで、世界に飛翔し挑戦していく明治大学の姿を示しています。長 期ビジョン「国際人の育成と交流のための拠点」をイメージし、世界をリー ドする明治大学をシンボル化しています。

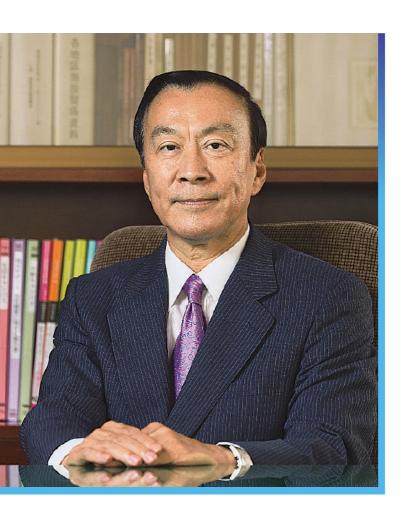


渉外用として140周年ロゴ入りの記念グッズ など)を制作しました

03







理事長 明治大学創立140周年記念事業実行委員会 委員長

柳瓜孝

前へ、そして未来へ

2021年1月17日に、本学はおかげさまで創立140周年を迎 え、創立記念祝日である11月1日に、記念式典を挙行いたしまし た。本誌に掲載されております各種記念事業につきましては、コ ロナ対応とそれに伴う学生支援を最優先し、「費用面ではコン パクトに、内容的にはインパクトのあるものに」というコンセプト で準備をしてまいりました。記念事業を代表する和泉キャンパス における新教育棟「和泉ラーニングスクエア」や「明治大学子ど ものこころクリニック」などを支える「創立140周年記念事業募 金」に対しまして、校友やご父母を始めとする多くの方々から 3100件を超えるご寄付を賜り、総額は約7億6000万円にもな りました。改めまして心より感謝を申し上げます。

また、式典では、創立150周年という大きな節目となる2031 年に向け、第二次長期ビジョンである「MEUI VISION 150 -前 へ-」を公表いたしました。学長のもと策定した「明治大学グラン ドデザイン2030」に大学経営における全学ビジョンが加わり、 法人と教学が一体となったビジョンとなりました。強固な財政基 盤を確立し、ニューノーマル時代に対応する教学と法人のガバ ナンスを強化することで、明治大学ならではの教育・研究を持 続的に支えます。

さらに、創立150周年に向けた大きな計画として、神田猿楽 町地区を中心とした駿河台キャンパス再開発や生田第2中央 校舎建設といった各キャンパスにおける施設整備計画や、将来 にわたり安定した入学者を確保するための付属校政策も進め てまいります。そして次の創立150周年、さらにその先も、どのよ うな困難に直面しようと歩みを止めることなく「前へ」と進んでま いります。

結びになりますが、本学がこの21世紀にアジアのトップユニ バーシティ、そしてアジアのハブとして未来に輝き続けていくた めに、一層のご理解とご支援を賜りますようお願いを申し上げま して、巻頭の挨拶といたします。



学長 明治大学創立140周年記念事業実行委員会 副委員長

大二野 耕作

さらなる飛躍を!

明治大学創立140周年記念誌の発刊にあたり、ご挨拶申し 上げます。

本学は1881年、わが国が近代国家建設を急いでいたその時 に、「近代市民社会を担う聡明な若者を育てたい」という高い志 と教育への熱い情熱を備えた、若き3人の法学者によって、明治 法律学校として設立されました。

その創立者の一人である岸本辰雄先生は、「明治大学の教 育は、服従の教育ではなく、学生自身の欲求に基づく教育であ る」と述べています。この岸本先生の言葉は、現代の教育でも盛 んに提唱されている「アクティブ・ラーニング」の本質を見事に 捉えています。自ら発信し対話を行い、課題を解決していくこと。 学生・教員を問わず、自ら何を学び研究するのかを考え、その欲 求の下で自由な学問研究に取り組むことが、爾来、長らく受け 継がれてきた明治大学の伝統なのです。

創立140周年記念施設整備事業を代表する新教育棟「和泉 ラーニングスクエア」には、学生個人やグループでの主体的学 びを推進するスペース「グループボックス」や、学生同士が偶発 的に集まり出会うことでイノベーションを起こす「プレゼンテー ションラウンジ」等、さまざまな新しい仕掛けや工夫が数多く盛 り込まれています。ここで学友と交流し大きく成長を遂げた明大 生が、全世界で活躍しているであろう10年後が楽しみでなりま

学生一人ひとりを「学びの主体」とすべく"Student First"の気 持ちを常に忘れない。そのために教学と法人が緊密に連携を続 け、来るべき150周年に向け、明治大学の進化の歩みをより一 層加速させてまいります。

改めまして、「明治大学創立140周年記念事業募金」をはじ めとする各種ご支援を賜りました関係各位に御礼申し上げます とともに、皆さまの付託とご期待に沿えるよう全力を尽くしてま いりますので、今後も変わらぬご支援とご協力をお願い申し上 げ、私からの挨拶とさせていただきます。

MEIJI UNIVERSITY







明治大学 創立140周年記念式典

学校法人明治大学は創立140周年を記念し、 創立記念祝日となる11月1日に「明治大学創立140周年記念式典」を 駿河台キャンパス・アカデミーホールで挙行しました。

式典は、田部井茂総務担当常勤理事の開式の 辞から開始。初めに柳谷孝理事長と大六野耕 作学長が式辞に立ち、それぞれ140年前に明 治法律学校を創設した3人の創立者(岸本辰 雄先生、宮城浩蔵先生、矢代操先生)の志に 思いを馳せながら、大学を代表して式辞を述 べました。

続いて、ご来賓の寬仁親王妃信子殿下から祝 辞を頂戴しました。さらに、来賓から末松信介 文部科学大臣(義本博司事務次官が代読)、 本学校友の萩生田光一経済産業大臣、早稲 田大学総長の田中愛治・日本私立大学連盟会 長が祝辞に立ちました。また、日本私立学校振 興・共済事業団の小谷隆之理事、公益財団法 人大学基準協会の永田恭介会長にもご列席 いただきました。

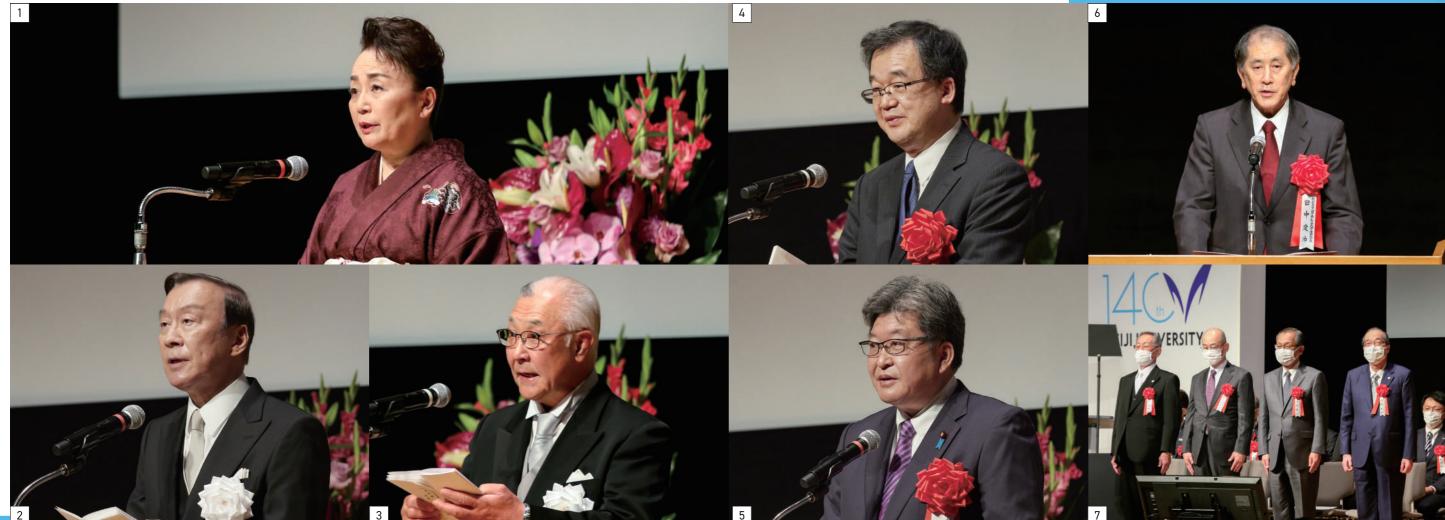
功労者表彰に続いて、柳谷理事長と大六野学 長による次期長期ビジョン「MEIJI VISION 150 ―前へ―」の発表が行われました。ビジョ ンの発表に先立ち、本学校友で声優・マルチク リエイターの三ツ矢雄二さん、本学卒業生父 母で声優・女優の日髙のり子さんがナレーショ ンを務め、創立130年以降10年間の本学の歩

みをまとめた動画も放映されました。

柳谷理事長と大六野学長は、5つの項目に基づ いて10年後のビジョンを紹介し、最後に、「『権 利自由』『独立自治』を建学の精神とする本学 は、人間が人間として生きるに値する平和で持 続可能な社会を創出する教育・研究拠点を目 指します」(大六野学長)、「学校法人明治大学 は2022年度からビジョンおよび方針を実現す るための具体的な施策として、第3期中期計画 に取り組んでまいります。創立150周年に向け て、どんな困難に直面しようとも歩みを止めるこ となく『前へ』突き進んでいくことをここに宣言い たします」(柳谷理事長)と締めくくりました。

終わりに、「明大アイデンティティ 我等に燃ゆる 希望あり~校歌誕生100年記念プロジェクトと のコラボレーション企画」として、本学校友でハ ーモニカ奏者の寺澤ひろみ氏による明治大学 校歌初演の再現演奏や、「『明治大学校歌』誕 生物語り」と題する明治大学校歌の誕生秘話 に関するアニメーション映像と、混声合唱団に よる校歌合唱動画などが放映され、大原幸男 経営企画担当常勤理事の閉式の辞をもって式 典は終了となりました。

明治大学創立140周年 記念式典



来賓祝辞

寛仁親王妃信子殿下

2 式辞

140th Ceremony

08

理事長 柳谷 孝

式辞

3

学長 大六野 耕作

4 来賓祝辞

> 文部科学大臣 末松 信介 様 (代読 義本 博司 事務次官)

5 来賓祝辞

経済産業大臣 萩生田 光一 様

来賓祝辞

日本私立大学連盟会長 田中 愛治 様

功労者表彰

MEIJI UNIVERSITY

140th Ceremony

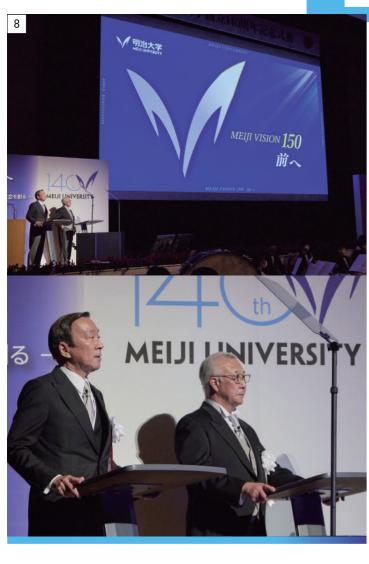
11



明治大学創立140周年 記念式典



記念式典の映像は、 こちらでご覧いただけます https://www.meiji.ac.jp/140th/ceremony/





MEIJI VISION 150 - 前へ -これまでの10年間の歩みと 第2次長期ビジョン発表

明大アイデンティティ 我等に燃ゆる希望あり

~校歌誕生100年記念プロジェクトとの コラボレーション企画~

寺澤ひろみ氏による校歌初演の再現演奏

明治大学創立140周年記念 功労者表彰

創立130周年記念式典実施以降、本学に顕著な貢献を行った 個人・団体に対して表彰を行いました。



個 人	表彰理由など
向殿 政男(1965年工学部卒)	明治大学校友会の前会長・現名誉会長として校友会の発展に寄与
渡邊 建三(1977年法学部卒)	特別紫紺賛助員・評議員。多額の寄付で本学に貢献
長嶋 比呂志(農学部教授)	研究者としての実績、研究部門の役職者として本学に貢献
関谷 芳久(1973年政治経済学部卒)	駿台体育会の副会長として、本学におけるスポーツの発展に貢献
団体	表彰理由など
連合駿台会	各界で活躍する卒業生相互の連携を図り、社会への貢献と本学の発展に寄与
明治大学連合父母会	父母と大学の架け橋として、さまざまな事業を通して多岐にわたり学生を支援
(株)みずほフィナンシャルグループ	2012年4月以降、最も多くの本学卒業生を採用
鳥取県 / 鳥取県鳥取市 山形県天童市 福井県鯖江市	明治大学創立者出身地域自治体(さまざまな共催・協力事業を実施)
	I and the second

和泉ラーニングスクエアの 詳しい情報はこちらから ご覧いただけます https://www.meiji.ac.jp/140th/izumi_ls/

明治大学創立140周年記念事業 1

和泉ラーニングスクエア

和泉キャンパス新教育棟(仮称)整備計画建設

和泉キャンパスにおける教室数の不足や教育 施設の老朽化、さらには社会の激しい変化に 対応し、総合的な知の基盤である「教養教育」 を展開する"場"の創出を目的として整備計画 が進められ、2022年3月に建物竣工。4月より 利用が開始されます。

整備計画は、第二校舎(堀口捨己[本学建築学 科の創始者]による設計)の老朽化とバリアフ リーの問題による建て替えも大きな課題でし た。そのため、和泉ラーニングスクエア新築は、 和泉キャンパス第二・第三校舎の建て替えに当 たります。併せて、第四校舎の解体も行い、既存 の第二・第三・第四校舎の解体跡地整備工事 (2022年12月完了予定)も行います。

施設内には大小さまざまな教室に加え、アク ティブラーニングを推進するさまざまな設備(グ ループボックス、カイダン教室、センターアゴラ など)が用意されています。明大生の能動的な 学びを後押しする、明治大学らしさを体現した 校舎となっています。

建物概要

建物名称	和泉ラーニングスクエア
所在地	東京都杉並区永福一丁目9番1号
敷地面積	53,224 . 17m²
建築面積	2,661.97m²
延床面積	12,241 . 52㎡
構造	鉄骨造一部鉄筋コンクリート造
基礎	杭基礎
階数	地上8階
建物高さ	38,77m

下击:	HATE TITLES
上事'	陇安

設計・監理	株式会社松田平田設計

建築工事	戸田建設株式会社
電気設備工事	日本電設工業株式会社
機械設備工事	大成温調株式会社
家具・備品工事	株式会社清和ビジネス
工事期間	2020年3月~2022年3月



写真2:天井スペースを活用した斬新な教室案内(廊下部分)

写真6:学生同士が協働する場「グループボックス」

写真7:最新鋭の設備を備えた教室

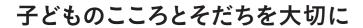
子どものこころクリニック

心理臨床センターは2021年1月15日、「明治大学子どものこころクリニック」を駿河台キャンパス内に開院し、児童精神科の診療を開始しました。診療対象は初診時3歳から15歳の児童・思春期の子どもとその家族。

駿河台キャンパス近隣には児童・思春期精神 科医療機関が不足しており、センターでの「心 理相談」と「精神医療」が連携しながら子どもの 成長・発達を支援する新しいクリニックを開設 し、より幅広い社会貢献を目指します。さらに、同 クリニックでは、大学院文学研究科臨床人間学 専攻臨床心理学専修や文学部心理社会学科 臨床心理学専攻の学生に対し、臨床・実習など 質の高い教育機会が提供できることとなり、本 学はオリジナルの教育システムを有する公認心 理師・臨床心理士養成大学として先進的な存 在となります。

診療科目 児童精神科・精神科・心療内科

診療対象 児童思春期の子どもと、そのご家族 年齢:3~15歳



COVID-19の流行にともなう緊急事態宣言下に開院した当院ですが、おかげさまで無事に2度目の春を迎えました。現在は、毎月のべ300人近い患者さんと、そのご家族が通院されています。初診時には、精神科医である私と専任の心理師、大学院で学ぶ研修生が一緒に患者さん親子の話をうかがいます。これには当院自慢の集団療法室を使っています。靴を脱いで上がる広

くて日当たりの良い部屋です。

COVID-19のため開院時からずっと集団療法が行えずにいましたが、昨年から養育者を対象にしたペアレント・トレーニングや、小中学生のためのテーブル・ロールプレイング・ゲームを用いた余暇活動支援などの準備を進めてきました。2022年度は、これらを実動させ、臨床活動のさらなる充実を図ってまいります。

院長 山登 敬之

筑波大学大学院博士課程医学研究科修了。精神科医、医学博士。専門は 児童青年期の精神保健。国立小児病院精神科などを経て、2004年に東京 えびすさまクリニックを開設。2020年9月に同院を閉院後、明治大学文学部 心理社会学科特任教授に着任。





子どものこころクリニック ホームページ https://www.meiji.ac.jp/mhc/

明治大学創立140周年記念事業 3

さよなら和泉第二校舎

長年にわたり和泉キャンパスの学生を見守ってきた第二 校舎が、新教育棟「和泉ラーニングスクエア」建設に伴い、 2022年2月下旬以降、解体されます。これまでの思い出を 振り返るとともに、第二校舎の記憶を未来へと継承させる 企画「さよなら和泉第二校舎」として、和泉キャンパス第二 校舎の「記録の保存」、「記録の作成」、「記録の継承」を軸 としたプロジェクトが実施されました。

和泉第二校舎について

明治大学総合5カ年計画の一環として創立80周年に当た る1960(昭和35)年に竣工。廊下を吹き流しの傾斜路に するなど、斬新な外観を取り入れた同校舎には大教室8教 室が配置されました。設計は明治大学工学部教授であっ た日本を代表する建築家の堀口捨己(1895-1984)。同建 物は日本におけるDOCOMOMO150選に選定されるなど 高い評価を得ています。





創立140周年記念サイトでは、







特設WEBサイト「復興の軌跡と未来への継承」を公開

東日本大震災発生からちょうど10年となる、2021年3月11日に、特設WEBサイト「復興 の軌跡と未来への継承」を大学ホームページ上で公開しました。

本学の連携地域である福島県新地町、岩手県大船渡市、宮城県気仙沼市が進めてき た復興の取り組みやこれからの目指す姿をはじめ、明治大学が復興支援活動を通じて 培ったネットワークや知見を生かして制作したコンテンツが多数公開されています。



特設WEBサイト「復興の軌跡と未来への継承」



動画シンポジウム「都市型大学の将来構想とICTの展開」

コロナ禍という現下の災禍と、ICTを活用したオンライン講義やDXなどの情報コミュニケ ーション技術の発達による社会の大きな変化の中で、今後、明治大学が都市型大学と して持続的にどのような価値創造を行うべきか幅広い視点から検討することを目的とし て開催。香港教育大学前学長アンソニー・チェン氏、韓国延世大学校教授・国連国際 人事委員会委員などを務めるキム・パンスク氏、法政大学総長の廣瀬克哉氏らが登壇 しました。また、学生、校友、教職員によるパネルディスカッションを行いました。



「都市型大学の将来構想とICTの展開」



動画講演会

「誰一人取り残さない大学をどう実現するか ―多様な視点から考える―」

「誰一人取り残さない」というSDGsの基本理念に則り、誰もが個々の能力を存分に発 揮し、平等に教育・研究等の活動をキャンパスで実現できるよう考えるとともに、多様性 の尊重と包摂性への理解を深める機会とすることを目的として開催。校友でロンドン 2012パラリンピック女子100m背泳ぎ金メダリストの秋山里奈さん(2010年法学部 卒、2013年大学院法学研究科博士前期課程修了)をはじめ、校友・在学生らによる講 演が公開されています。



https://www.meiji.ac.jp/140th/project/08/



Memorial

明治大学創立140周年記念事業 4

明治大学校歌誕生100年記念プロジェクト

明治大学校歌が2020年10月に誕生100年を迎えたことを記念して、10 月28日が「校歌の日」として制定されました。校歌は、明治大学が大学令 に基づく大学に認可された1920年(大正9年)秋に制定され、同年10月 28日に明治大学ハーモニカソサエティーの演奏会において公の場で初 演されたことにちなんで10月28日が「校歌の日」となりました。

制定に当たっては、明大スポーツ新聞部を中心に発足した学生有志団 体「明治大学 校歌誕生100年記念プロジェクト」から大学に提出された 請願書を受けて理事会で検討が行われました。

さらに、2021年に挙行された創立140周年記念式典では、この校歌制定 時のエピソードを基にしたアニメーション「『明治大学校歌』誕生物語り」 や、混声合唱団による校歌合唱動画の放映などが行われました。



アニメーション「『明治大学校歌』誕生物語り」 (明治大学YouTubeチャンネル) ※YouTubeでは英語・繁体字・簡体字・韓国語の字幕を付けた バージョンも公開しています https://youtu.be/YpRrEE2-btQ



校歌100周年記念イベント・ハーモニカソサエティー有志学生による演奏の様子



アニメーション「『明治大学校歌』誕生物語り」

バルーンめいじろう制作

大学公式キャラクター「めいじろう」の大型バルーン(エアロフィギュア) を制作しました。送風機で空気を吹き入れると、丸みのある愛らしいフォ ルムで高さ約3メートルのめいじろうが現れる仕組みで、総合数理学部 の五十嵐悠紀准教授と杉山恭之さん(2年)が設計図を担当しました。 五十嵐准教授は、ぬいぐるみやバルーンなどの設計・制作の工程につい て、コンピュータグラフィックス(CG)を活用し、誰でも簡単にできるよう な作業支援システムの研究を続けてきました。このシステムとCG制作ソ フト「ブレンダー (Blender)」を組み合わせ、杉山さんがバルーンのもとと なるめいじろうの立体モデルとその展開図を作成。約3カ月の制作期間 を経て完成させました。

バルーンめいじろうは、創立記念式典当日には式典会場入り口にも登場 しました。今後もオープンキャンパスや、学園祭などの大学行事の際に披 露される予定です。



創立140周年記念サイトでは、五十嵐准教授と 杉山さんの対談記事を公開しています https://www.meiji,ac.jp/140th/interview/02/





※五十嵐准教授と杉山さんの所属情報・学年は在籍当時

スポーツ記念事業

スポーツ記念事業では主に3つの事業を展開しました。

・140周年記念ワッペン

記念ロゴのワッペンを制作し、体育会各部のユニフォームに貼り付けまし た。コロナ禍で限られた活動環境の中でしたが、記念ワッペンをつけた選 手たちが母校の誇りをかけて活動しました。

・書籍「遥かなる明大山脈(スポーツ編)」

本学体育会における各部の歴史を紹介し、日本における学生スポーツの 歴史と意義について改めて明示することを目的として、2021年秋に「遥 かなる明大山脈(スポーツ編)」を刊行しました。購入・問い合わせは明治 大学博物館(03-3296-4448)まで。

・明大スポーツ新聞縮刷版

長年にわたり本学体育会の活躍を報じてきた明大スポーツ新聞の縮刷 版(第4巻)を制作しました。同紙401号~500号とその間に発行された 号外を掲載しています。購入・問い合わせは明大スポーツ新聞部 (https://meisupo.net/)まで。



140周年記念ワッペン





『白雲なびく-遥かなる明大山脈-① スポーツ編』明治大学史 資料センター編(DTP出版、税込800円)

杉原厚吉研究特別教授監修「立体錯視作品」の特別展示

研究知財・戦略機構の杉原厚吉研究特別教授が監修する「立体錯視 の不思議を知ろう」特別展示が、4キャンパスを巡回する形で実施され ました。

杉原厚吉研究特別教授は、2009年明治大学先端数理科学インスティ テュートに特任教授として着任。明治大学の錯覚研究の第一人者とし て、専門の数理工学の分野からのアプローチを通じて、新たな原理の発 見や、数々の錯覚作品を生み出してきました。

この企画では、その作品の中から「不可能モーション立体」と「変身立体」 の2種類の錯視立体を展示用に制作。各キャンパスのギャラリーやエン トランスホール等にそれぞれ | ~2カ月間ずつ展示しました。



創立140周年記念サイトでは、杉原研究特別教授 へのインタビュー記事を公開しています https://www.meiji.ac.jp/140th/interview/03/







RSITY 17.0±b Mg

21

NIVERSITY

明治大学創立140周年記念事業 5

社会科学研究所公開シンポジウム「ジョブ型と日本企業」

明治大学社会科学研究所は2021年11月20日に第33回公開シンポジウム「ジョブ型と日本企業」をオンラインで開催しました。

労働政策研究・研修機構研究所長の濱口桂一郎氏、大正大学表現学部の海老原嗣生特命教授らが 登壇し、社会的に注目を集めており、また欧米企業で一般的な雇用形態である「ジョブ型」雇用につい て、日本社会・企業においてどのように考えられるか多面的な議論が展開されました。



社会科学研究所公開シンポジウム 「ジョブ型と日本企業」 https://www.meiji.ac.jp/140th/project/13/



人文科学研究所公開講座「日独の市民社会とプロサッカークラブの役割」

明治大学人文科学研究所は2021年10月9日に第45回公開文化講座「日独の市民社会とプロサッカークラブの役割一1.FCケルンとギラヴァンツ北九州の事例を中心に一」をオンラインで開催しました。ドイツ・スポーツ大学ケルンのユルゲン・ミッターク教授、1.FCケルンのフィリップ・リーゼンフェルト事業開発部長らが登壇し、国や行政を担い手としてきた公共性の概念が変容し、企業や市民にも公の担い手になることが求められている現代の日本とドイツの市民社会におけるプロサッカークラブの役割を議論しました。



人文科学研究所公開講座 「日独の市民社会とプロサッカークラブの役割」 https://www.meiji.ac.jp/140th/project/16/



Meiji Global Experience

付属校を含めた全国の高校生に、明治大学で提供する留学・海外派遣プログラムとその支援体制を周知するためのワークショップ形式の(出張)説明会をオンラインで実施しました。また、これらのプログラム等に関する動画や大六野学長によるメッセージ動画を制作し、大学ホームページで公開しています。





Meiji Global Experience (明治大学ホームページ) https://www.meiji.ac.jp/cip/140globalexperience.html

明治大学発祥の地記念碑祭

明治大学校友会東京都5支部共催・東京都南部支部主管による「第13回明治大学発祥の地記念碑祭」(2022年1月17日)を大学後援で挙行しました。第1部は、東京・有楽町の数寄屋橋交差点付近の記念碑前でセレモニーと記念撮影が行われ、第2部は、駿河台キャンパス・アカデミーコモンにおいて講演会と式典が行われました。式典の模様はYouTubeでライブ配信され、記録映像も公開されています。





明治大学発祥の地記念碑祭(記録映像)

https://www.youtube.com/channel/UCn-qZd3al5JNcw4pbtnQAKw

博物館特別展 校友山脈 一明治大学の教育と人材―

1881年の創立以来、明治大学が送り出した約58万人の校友(卒業生)の中から、「過去・現在にわたって顕著な業績を残した100人余りの人物群像」と、校友を育んだ「明治大学の教育」を主題として企画した特別展を2021年7月31日から11月3日まで開催しました。さらに、連動企画として、インタビュー映像『校友山脈 明治大学140→150周年 150人の卒業生たち』(監督 守屋健太郎氏)を制作。各界の第一線で活躍する校友10名へのインタビュー映像を、特別展での放映に加え、明治大学公式YouTubeチャンネルで公開しました。



博物館特別展 校友山脈―明治大学の教育と人材https://www.meiji.ac.jp/140th/project/10/





動画シンポジウム「鵜澤總明と明治大学」

故・鵜澤總明氏は、本学総長・理事長や付属中学校の初代校長などを務め、教学・経営の両面で中枢を担い、さらに、戦後の東京裁判で弁護団長を務めるなど、人権派弁護士として学術分野や政財官界でも活躍した人物であることから、大学史資料センターが大学創立140周年に際して調査・研究を進めてきました。それらの研究成果をまとめた書籍『鵜澤總明と明治大学』を2021年9月に刊行し、それを記念した動画シンポジウムを11月に公開しました。





動画シンポジウム『鵜澤總明と明治大学』 https://www.meiji.ac.jp/140th/project/14/



140周年記念サイト

創立140周年事業のコンセプトや各種取り組みを紹介するととも に、140周年を迎えた本学の歴史を紹介することを目的として、 2020年4月に明治大学ホームページ内に140周年記念サイトを 開設しました。

記念サイトでは、学内外で活躍する学生、教職員、校友などへのイ ンタビュー・対談記事なども公開。さらに、記念事業・博物館特別 展「校友山脈一明治大学の教育と人材一」連動企画として、幅広 い分野で活躍されている校友10人による動画メッセージも公開 しました。

また、2021年11月1日に挙行された記念式典は、新型コロナウイ ルス感染症拡大防止のため、来場者数を制限しての開催となりま したが、記念サイトおよび大学公式YouTubeチャンネルを通じてラ イブ配信が行われ、全世界に向けて発信されました。

計画されていた記念事業の取り組みの多くは、中止もしくはオンラ インでの実施や動画公開などに変更して行われました。記念サイト はそれらの受け皿として、当初の想定以上に多くの情報が集約さ れ、次代に向けて140周年記念事業の取り組みをそのままの姿で 記録し、発信し続けます。





スマートフォン・タブレット端末からのアクセス数増加に対応し、どの環境でも見やすいレスポンシブ デザインで設計されました。



記念式典の映像も公開しています







記念事業の各種取り組みを紹介





各界で活躍する学生・校友・教職員のインタビュー、動画メッセージも掲載しています



140周年記念新聞広告



2021年1月17日(創立140周年当日)に全国紙(朝日新聞・読売新聞・日本経済新聞・毎日新聞・産 経新聞)各紙朝刊に明治大学の取り組みを紹介する広告を掲出いたしました。この広告は明治大学 の取り組みを架空の書籍になぞらえたビジュアルで仕立てました。創立140周年記念サイトではこの 広告との連動企画として、これらの書籍の表紙とともに、大学の取り組みを紹介しました。





ニューノーマル時代の 空間デザイン キャンパス力を高める

―和泉キャンパス新教育棟の建設―

2022年春に竣工する「和泉ラーニン グスクエア」(2021年1月時点では名 称未決定)を紹介する書籍をイメージ しています。



心理臨床センター 子どものこころクリニック 先進的臨床実習を実現

2021年1月に開院した「明治大学子ど ものこころクリニック」を紹介する書籍 をイメージしています。



明治大学国際化10年の歩み 留学生が約2倍、海外留学者が約4倍に

1人当たり最大300万円を支給する 「海外トップユニバーシティ留学奨励 助成金」の創設や、2019年にオープン した国際混住寮「明治大学グローバ ル・ヴィレッジ」など、明治大学が進め る国際化の取り組みを紹介する書籍を イメージしています。



独創×社会貢献で加速する知の創造サイクル

2020年度の科学研究費助成事業(科 研費)の交付内定数は、過去最高の 334件(7億44万円)を記録しました。 「味ディスプレイ」「バイオプラスチッ ク」「エイジングシート」など、本学教員 の研究技術(知的財産)の社会実装が 進められています。これらの実績などを 紹介する書籍をイメージしています。



学び続ける力 今求められる、生涯学習教育の多様化に迫る

明治大学の知的財産を社会に還元す るための生涯学習拠点「リバティアカ デミー」は、1999年に創設。20周年を 迎えた2019年度には420講座を設置 開設し、約16,000人が学びました。こ れらの取り組みなどを紹介する書籍を イメージしています。



同心協力 卒業生57万人の校友力

明治大学はこれまで全国・全世界に 57万人の卒業生(校友)を輩出してき ました。「明治はひとつ」の精神のもと、 社会のさまざまな分野で活躍する強固 な校友ネットワークを活かし、後に続く 学生が各人の夢を実現して社会に貢 献できるように活動を続けています。



就職力 「就職に力を入れている 大学ランキング」で11年連続1位

「就職の明治」として高い評価を受け ている明治大学の就職キャリア支援 の取り組みを紹介する書籍をイメージ しています。



選ばれる力

なぜ明治大学は「志望したい大学」1位なのか

明治大学は2020年度入試で、志願者 数が14年連続10万人を超えるなど、 全国の受験生や高等学校から高い評 価を得ています。また、リクルート進学 総研が2020年7月16日に発表した 「進学ブランドカ調査2020」ランキン グ「志願したい大学」(関東エリア)で 本学は | 位となりました。



大学スポーツを通じた 人間力の育成

五輪選手やプロスポーツ選手を多数 輩出し、大学スポーツ界をリードする 46団体から成る明治大学の体育会を 紹介する書籍を射イメージしています。



これらの架空の書籍に関する詳しい 情報を明治大学創立140周年サイトに 掲載しています

https://www.meiji.ac.jp/140th/konochikara/



MEIJI UNIVERSITY

明治大学のあゆみ

1881年に「明治法律学校」として開 校された明治大学は、2021年に創立 140周年を迎えました。

これまで、建学の精神である「権利自 由、独立自治」を体現した多彩な人材 を輩出してきました。これからも、多様 な「個」を磨き、自ら切り拓く「前へ」の 精神を堅持し、社会のあらゆる場面で 協同を進め、時代を変革していく人材 を育成します。

(明治14年) **明治法律学校開校**

地方出身の3人の若者(岸本辰雄、宮城浩蔵、矢代操)によって創 立され、麹町区数寄屋橋の一角(現在の有楽町・数寄屋橋交差点 近く)に開校しました



(明治21年) 特別認可学校規則により法律学部・政治学部の2学部を設置

1903 (明治36年)専門学校令により明治法律学校を「明治大学」と改称

(明治37年)学則改正により法学部・政学部・文学部・商学部設置

明治大学校歌公示(作詞·児玉花外、作曲·山田耕筰)

(大正9年)大学令による明治大学設立認可 1920

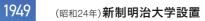
(昭和4年)女子部設置

1934 (昭和9年)和泉キャンパス開設

1946

1944 (昭和19年)女子部を改め、明治女子専門学校設置 東京明治工業専門学校設置

(昭和21年)明治農業専門学校設置



法学部•商学部•政治経済学部•文学部•工学部• 農学部を置く

1950 (昭和25年)短期大学設置、生田キャンパス開設

(昭和27年)大学院設置

(昭和28年)経営学部設置

(昭和49年)連合父兄会(現連合父母会)結成

(昭和55年) 創立100周年記念式典を挙行



記念館(1983年)

(平成元年)**工学部を理工学部に改組**

1998 (平成10年)

リバティタワー竣工



(平成11年)リバティアカデミー設立

2001 (平成13年)

2004

公募による大学シンボルマークが誕生

(平成16年)情報コミュニケーション学部設置 法科大学院開設

ガバナンス研究科、グローバル・ビジネス研究科 設置



(平成17年)会計専門職研究科設置

2006 (平成18年)短期大学が閉学、紫紺館竣工

> (平成19年)初の全学部統一入試を全国5会場 (東京・札幌・仙台・名古屋・福岡)で実施



付属明治高等学校・中学校が男女共学となり調布市へ移転

(平成21年)

「めいじろう」が大学公式 キャラクターに決定



2012 (平成24年)黒川農場竣工、新しい和泉図書館が開館



(平成25年)グローバルフロント竣工、中野キャンパス 開設、総合数理学部設置



2013

1コマの授業を100分へ拡大した新授業時間割が

(平成31年)国際混住寮「明治大学グローバル・ヴィ レッジ(MGV)」竣工

(令和3年)**創立140周年**

11月1日に創立140周年記念式典を挙行

(令和4年)和泉ラーニングスクエアが竣工 2022



Book

140th Memorial

を制作し、特設サイトなどで公開しました。

財務担当常勤理事 経営企画担当常勤理事 教務担当常勤理事

研究·情報担当常勤理事 総務担当常勤理事

学務担当常勤理事

副学長(総合政策担当兼情報教育担当)

文学部准教授

校友会副会長

連合父母会顧問

連合駿台会長

駿台体育会副理事長

教学企画部長

学生支援部長

経営企画部長

総務部長

財務部長

大六野 耕作

千田 亮吉

中里 猛志 大原 幸男

青野 覚

荒川 利治 田部井 茂

岡安 孝弘 渡邉 友亮

副学長(教務担当)

上野 正雄 副学長(広報担当·学長室専門員長)

濱田 祥子 農学部准教授(学長室専門員) 中村 孝博

ガバナンス研究科教授(学長室専門員) 加藤 竜太

徳丸 平太郎 須藤 政弘

田村 駿

安達 明正 内藤 岳司

小野寺 幸子 浅川 光 奥住 賢二

岸上謙司 福田 敏行 大学支援部長

教学記念事業分科会 スポーツ記念事業分科会

琴野 武

田部井 茂(座長) 教務担当常勤理事

理事 副学長(学務担当)・学生部長 法学部長・ 大学史資料センター所長

記念式典•祝賀会分科会

校友会副会長 連合父母会顧問 連合駿台会長

総務担当常勤理事

財務担当常勤理事

校友会副会長 連合駿台会専務理事 駿台体育会相談役

学生支援部長 経営企画部長 総務部長

財務部長 大学支援部長 学術・社会連携部長

岩田 守弘 浜本 牧子 村上 一博 徳丸 平太郎 須藤 政弘 田村 駿 松崎 優子 当山 明彦 関根 宏一 小野寺 幸子

中里 猛志

浅川 光 奥住 賢二 岸上 謙司 福田 敏行

川口 誠人

青野 覚(座長) 尾関 直子 副学長(総合政策担当兼情報教育担当) 渡邉 友亮 副学長(教務担当) 千田 亮吉 浜本 牧子 副学長(学務担当)・学生部長 副学長(研究担当) 乾 孝治 副学長(社会連携担当) 源 由理子 副学長(国際交流担当) 小室 輝久 農学部准教授(学長室専門員) 中村 孝博 ガバナンス研究科教授 加藤 竜太 (学長室専門員) 教学企画部長 内藤 岳司 前田 浩 教務事務部長 研究推進部長 関谷 俊郎 国際連携部長 飯塚 浩司

社会連携事務長

学務担当常勤理事 岡安 孝弘(座長) 副学長(スポーツ振興担当) 西山 春文 商学部教授(副学生部長) 小林 尚朗 畠中 君代 駿台体育会会長 安達 明正 駿台体育会副理事長 小野寺 幸子 学生支援部長 スポーツ振興事務長 渡 佳和

広報戦略分科会

経営企画担当常勤理事 研究・情報担当常勤理事 副学長(広報担当・学長室専門員長) 文学部准教授 校友会副会長 校友会監査委員 経営企画部長

大原 幸男(座長) 荒川 利治 尾島 育四郎 上野 正雄 濱田 祥子 徳丸 平太郎 齋藤 柳光 浅川 光

(2021年11月1日時点)